

# アドビ 会社概要

## 設立

1982年12月にチャールズ ゲシキ (Charles Geschke) およびジョン ワーノック(John E. Warnock) により設立

## 本社所在地

米国カリフォルニア州サンノゼ

## 法人化

1983年10月に米国カリフォルニア州において会社組織として成立  
1997年5月に米国テラウェア州で再び会社組織として成立

## 銘柄記号

ADBE (NASDAQ)

## 新規株式公開 (IPO)

1986年8月20日  
分割調整後の株価は17セント

## 売上高

アドビの2012年度 (2012年11月30日まで) の売上高は44億300万米ドルでした。  
アドビの売り上げの半分以上は米国以外の国や地域における売上です。

## 従業員数

全世界で11,000名以上

## 主な買収

2012年 Behance 社  
2012年 Efficient Frontier 社  
2010年 Day Software 社  
2009年 Omniture 社  
2005年 Macromedia 社

アドビはデジタルエクスペリエンスを通じて世界を変革しています。アドビ自らのクリエイティブDNAに基づき、美しく力強い画像、ビデオ、およびアプリケーションを作り出すだけに留まらず、企業はあらゆるデジタルチャンネルとスクリーンを通じてお客様と関わることのできる新たな手段を構築し続けています。

アドビのデジタルメディアおよびデジタルマーケティングソリューションは、お客様企業のコンテンツ作成、管理、測定、および収益化を支えています。たとえば Vanity FairやMartha Stewart Livingをはじめとする大手出版物では、印刷媒体、オンライン、およびタブレットを通じて提供される魅力あるインタラクティブコンテンツの作成にアドビのクリエイティブソフトウェアが使用されています。また同時にSony、U.S. Bank、Caesar's Entertainmentなどそれぞれの業界のリーダー企業には、マルチチャンネル、マルチスクリーン化の進む世界での営業の成果を最大限に発揮するためにAdobe Digital Marketingソリューションが導入されています。

## アドビのソリューション

### デジタルメディア

アドビはクリエイティブプロフェッショナル、パブリッシャー、デベロッパー、およびその他の企業がコンテンツを作成、パブリッシュ、販促、および収益化することを支援しています。お客様が改革し続けているデザイン、アート、Web、モバイルアプリケーション、ビデオ、放送、および印刷媒体によるコンテンツは、アドビのビジュアル文化に極めて大きな影響を及ぼし続けています。

### 主要製品ファミリー:

#### Adobe Creative Cloud

アドビが提供するすべてのデスクトップクリエイティブアプリケーションをダウンロードすることができ、また共有、コラボレーション、およびパブリッシングのためのオンラインサービスも提供するクラウドベースのサブスクリプションサービス

#### Adobe Digital Publishing Suite

個人デザイナー、従来の出版社、広告代理店、およびすべての規模の企業が、iPadを含むタブレットデバイス向けの魅力あるコンテンツや出版物を作成、配信、収益化、および最適化することを支援

#### Adobe Photoshop

デジタル画像を最大限に活かし、それを想像できる限りのあらゆる作品に変え、驚くような形で世界を提示するための究極の手段

#### Acrobat

企業の内外を問わず、文書やコンテンツによるコミュニケーションとコラボレーションを簡単、シームレスに実現するスマートなツールが満載

#### Edge ツール & サービス

デザイナー、デベロッパー、およびその他の人々が、HTML、CSS、およびJavaScriptを使って動きを伴うインタラクティブコンテンツを迅速に作成し、さまざまな機器を通じて美しく最新のデジタルエクスペリエンスを提供するために必要とするすべてのツールを提供

### デジタルメディアに関する事実

- 世界のクリエイティブプロフェッショナルの90%以上がPhotoshopを使用しています。
- 2012年オリンピックでは、アドビのビデオストリーミング技術が米国と英国向けのオンラインおよびモバイルアプリケーションのエンジンとなりました。
- Adobe Digital Publishing Suiteを通じて発行されたデジタル出版物は7,500万本を超えています。

### デジタルマーケティング

アドビのデジタルマーケティングソリューションにはコンテンツとデータ、パーソナライズ機能、エクスペリエンス管理、およびソーシャル機能が組み合わせられ、企業がデータからインサイトを取得し、さらにアクションを構築する作業を高速化します。マーケター、アドバタイザー、およびパブリッシャーは自らのソリューションを使い、さまざまなチャネルや画面にわたってカスタマーエクスペリエンスとキャンペーンからのリターンを最適化します。リアルタイムのデータと確実なインサイトに基づき、あらゆる規模の企業は顧客が求めるエクスペリエンスを正確に、またそれがもとめられる場所とタイミングで提供します。

### Adobe Marketing Cloud

Adobe Digital Marketingの基盤であるAdobe Marketing Cloudには、データとコンテンツをホスティングするための拡張性に富んだプラットフォーム、意思決定能力を強化するマルチチャンネルにおける分析、およびビジュア取得とコンバージョンを高めるためエクスペリエンスを継続的に改善することのできる柔軟性を備えています。

## 経営陣

シャンタヌ ナラヤン  
(Shantanu Narayan)  
社長兼CEO (最高経営責任者)

マイケル ディロン  
(Michael Dillon)  
ゼネラルカウンシル兼  
コーポレートセクレタリー  
シニアバイスプレジデント

マーク ギャレット  
(Mark Garrett)  
エグゼクティブバイスプレジデント  
兼CFO

ナレシュ グプタ  
(Naresh Gupta)  
プリント&パブリッシング  
シニアバイスプレジデント兼  
アドビ システムズ社 インド  
マネージングディレクター

ブライアン ラムキン  
(Bryan Lamkin)  
テクノロジー&コーポレートデベロプメント  
シニアバイスプレジデント

アン ルネス  
(Ann Lewnes)  
マーケティング担当  
シニアバイスプレジデント兼CMO  
(最高マーケティング責任者)

ジェリー マーティン フリックインジャー  
(Gerri Martin-Flickinger)  
シニアバイスプレジデント兼CIO

ドナ モリス  
(Donna Morris)  
人事担当シニアバイスプレジデント  
ブラッド レンチャー  
(Brad Rencher)  
デジタルマーケティング事業部門担当  
シニアバイスプレジデント兼  
ゼネラルマネージャー

マット トンプソン  
(Matt Thompson)  
ワールドワイド フィールド  
オペレーション担当エグゼクティブ  
バイスプレジデント

デイビッド ワドワニ  
(David Wadhvani)  
デジタルメディア事業部門担当  
シニアバイスプレジデント兼  
ゼネラルマネージャー

## 会長

チャールズ ゲシキ  
(Charles Geschke)  
設立者および会長

ジョン ワーノック  
(John E. Warnock)  
設立者および会長

## アドビの5つのMarketing Cloudソリューション

- Adobe Analyticsは強力な分析機能とオーディエンスのセグメンテーション機能と共に、インサイトを報告し、また伝達するための機能を備えています。
- Adobe Socialは企業のオウンド、アード、ペイドメディアのすべてにわたるマーケティング活動の効果測定、管理を支援します。
- Adobe Media Managerは定評あるポートフォリオベースおよびルールベースのデジタル広告管理に加え、インテリジェントなキャンペーン効果予測とターゲット広告配信のための全体最適化などの機能を備えています。
- Adobe Targetは企業や組織がすべてのデジタル資産において、継続的にテストを行い、パーソナライズされたエクスペリエンスを提供することを可能にします。
- Adobe Experience ManagerはWebとモバイルの各チャネルにわたり、顧客に合わせたエクスペリエンスを提供するためのダイナミックなWebコンテンツ管理プラットフォームです。
- Adobe Campaignは複合的なキャンペーンの高度な自動化と実施を支える業界における最高レベルのクロスチャネルでのキャンペーン管理プラットフォームです。

## デジタルマーケティングに関するファクト

- アドビのデジタルマーケティングソリューションは5,000を超える世界のトップブランドに活用されており、これには上位20社のうち18社の全米オンライン小売企業、全米メディア企業トップ5社すべて、金融機関トップ10社のうち9社、自動車メーカーのトップ5社すべて、および電気通信会社のトップ10社中8社が含まれます。国内では、“ベストグローバルブランド”トップ10企業のうち8社、“ベスト国内ブランド”トップ10企業のうち7社が含まれます。
- アドビは年間4,600億件を超えるマーケティングキャンペーン資産を配信し、またWeb上でのトランザクションは年間6兆件を超えています。
- アドビはマーケターのための「ビッグデータ」企業であり、お客様のために27ペタバイトのデータを管理しています。
- モバイルはアドビのデジタルマーケティング事業の中でも成長を続けています。Adobe SiteCatalystサーバにおいて2012年第3四半期に処理された約1.6兆件のアナリティクストランザクションのうち、18%はモバイルデバイスによるものでした。
- アドビを通じて管理される年間の総デジタル広告支出は20億ドルを超えています。

## 企業の社会的責任

アドビの企業責任 (CSR) プログラムは、緊急の対応を必要とする社会、環境、および経済的問題に対処するために必要な能力を、社員が社内外の人々に提供することに注力しています。

- グローバルに展開する慈善事業であるAdobe Youth Voicesを通じ、アドビは13歳から18歳の子供達がデジタル技術とストーリーテリングのスキルを使って自らのコミュニティに存在する問題に対処し、また従来は不可能と思われていたような高等教育や就職機会に向けて準備できるよう支援しています。
- 世界中で展開する持続可能性 (サステナビリティ) のための業界最高基準の業務慣行に基づき、アドビは環境に配慮した施設、ゼロウェイスト戦略、およびエネルギー効率に関して上位5社の企業のひとつに常にランクされています。

## アドビのコアバリュー

アドビでは、次の4つのコアバリューがすべての活動を規定しています。

- 真正さ: 誠実、信用、および信頼。
- 卓越性: 従業員とお客様の両方に喜びをもたらす、卓越したエクスペリエンス構築に取り組んでいます。
- イノベーション: 高度なクリエイティビティを持ち、新しいアイデアとビジネスの現実とを結び付けることに取り組みます。
- 関与: 包括的であり、オープンであり、またお客様、パートナー、従業員、およびアドビが属するコミュニティに積極的に関与します。

## 業界における評価

- 2013年San Francisco Business Times誌調査の「ベイエリアの慈善事業活動企業」において第21位にランキング
- 2013年米国Bay Area News Group調査の「ベイエリアの職場ベスト95」において第9位にランキング
- 米国Fortune誌調査の「働きたい会社ベスト100」に13年連続でランキング
- 2012年米国Fortune誌調査の「2012年度世界の最も称賛される企業」において、コンピューターソフトウェアメーカー第2位にランキング
- 2011年米国ForresterResearch調査の「顧客の声」賞に選ばれる
- 2013年Ethisphere Institute調査の「世界で最も倫理的な企業145社」にランキング
- 2011年米国Newsweek Green Rankingsにおいて、「アメリカの環境に配慮した企業ベスト500社」の第14位にランキング
- 2012年Interbrandの調査において「グローバルブランドのベスト100」に選ばれる
- 2010年Boston College Center for Corporate Citizenship and Reputation Instituteの調査「米国で社会的影響のある企業のトップ50」において第20位にランキング
- 米国Green Building Councilによる「卓越したエネルギーおよび環境デザイン」において4つのプラチナ認定を受けた世界初の企業となる